

以下、本文-----

真菌血症の合併症と予後に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月～2021年3月に当院で血液培養検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法

カンジダ属を中心とする真菌血症は死亡率が高いことや眼内炎などの特定の遠隔病巣を作ることが知られております。その対処法を一括としたバンドルという診療のチェックリストのようなもので対応すべきとする意見もあります。そこで、当院での過去5年間の真菌血症の合併症および、予後を調べることで、バンドルの導入の必要性について検討します。研究実施期間は倫理委員会承認日～2023年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ上の情報：病歴、治療歴、既往歴、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供は予定しておりません

5. 研究組織

高知大学医学部附属病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL：088-866-5811

研究責任者

高知大学医学部 呼吸器・アレルギー内科

特任助教 荒川 悠

-----以上